

PROGRAM NOTE



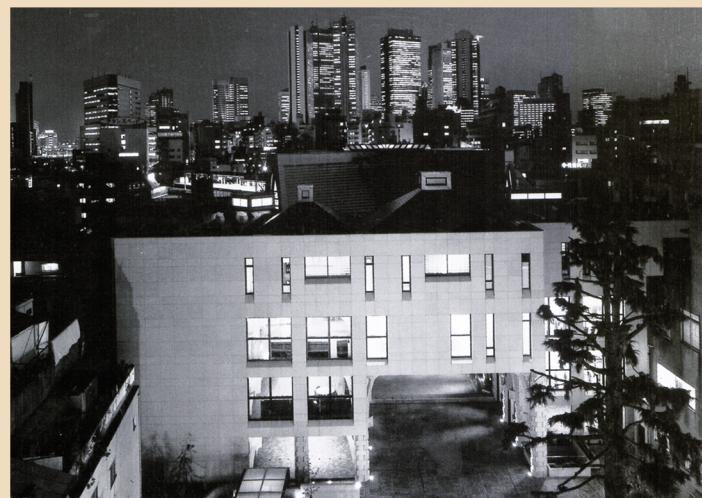
淀橋教会のアガペー共同体 淀橋教会 峯野龍弘主任牧師

淀橋教会は、1901年に神保町に開設された中央福音伝道館に端を発しました。アジアへの宣教の熱情に燃えた東洋宣教会の二人の宣教師カウマンとキルボルン両師が首都東京へやってきて、初代牧師には笹尾鉄三郎師、第二代は車田秋次師、第三代は中田重治師、そのあと第四代牧師に就任したのが小原十三司師でした。1942年6月26日未明には、国家による教会弾圧により小原牧師は投獄されましたが、獄中生活のなかで示された主の幻に従って、新生日本の将来のために1000人教会、1000人会堂建設のビジョンを打ち出し、ついに1964年には、当時の日本のプロテスタント教会中最大規模の新会堂を完成させたのでした。

さて、小原十三司師よりバトンを継承し、次の世代を走り抜かなければならぬ私たちの使命は、何なのでしょうか。そもそもキリストの体なる教会は、アガペー共同体でなければなりません。アガペー共同体とは、「キリストの十字架の贖罪の愛（これをアガペーという）によってアガペーされた者が、そのキリストのアガペーに倣って互いにアガペーし合い、さながら一人の人間のからだのごとく和合し、一体となることによって、そこに麗しい聖なる共同体を形成して、あたかもアガペーの主であるキリストがまさに現代に生きて歩んでおられることを彷彿させられるような共同体」のことを言います。

すなわち、アガペー共同体としての理想の教会の姿は、わたしたち人間が人種、言語、国籍、風俗習慣、皮膚の色、階級、貧富、教育の程度、年齢、性別、賜物などの一切の相異性をこえて、天地の創造者である父なる神のみ旨に従って相互にアガペーし合い、仕え合いながら美しい人間関係を結び、そこに神を中心とした聖

き人間社会を形成して行くところに存在しています。アガペーの愛には決して終りが無く、愛は無限に広く、長く、高く、深いものです。私どもの内なる人が強められ、キリストがお互いの心と生涯のうちに内住され、願わくは、アガペー共同体形成に必要なキリストのアガペーの愛をいよいよ豊かに増し加えて下さいますように！そして、いつまでも、どこまでも、永遠に至るまで・・・。さらにまた、今、ここに完成した主の栄光の輝きに満ちた新しい会堂を舞台にして、主の再びお出でになる日まで、全世界の果てに至まで、このアガペー共同体形成の聖なるみ業が拡大、浸透してまいりますように！ハレルヤ！



サタデー・トーク

きき手 尾崎一夫

毎週土曜日放送

12月06日	愉快な仲間：受信機あれこれ 永野正和（1）
12月13日	愉快な仲間：受信機あれこれ 永野正和（2）
12月20日	クリスマス音楽特集：いざ歌え、いざ祝え
12月27日	REACH BEYONDは今 （最新活動レポート）

放送後の番組は、ホームページ(<http://japanese.reachbeyond.org>)のトップページ左側メニューにある『インターネット放送』のリンクページからお聴きいただけます。（mp3形式）

バイブル・トーク

東京淀橋教会 峯野龍弘主管牧師

毎週日曜日放送

12月07日	聖書の見所をたずねて：聖書遊覧バス（78）
12月14日	リスナーからの「お便り交換の時間」
12月21日	クリスマス・メッセージ
12月28日	年末メッセージ

放送時間：日本時間 午前7時半～8時 17760kHz （再放送） 午後7時55分～8時25分 15400kHz
(米国アリゾナ州制作／オーストラリア送信)